

## #ネオス実績紹介

グラフィックデザイン・WEBデザイン・映像・ブランディングなど、ネオスがお手伝いした事例をピックアップしてご紹介します！



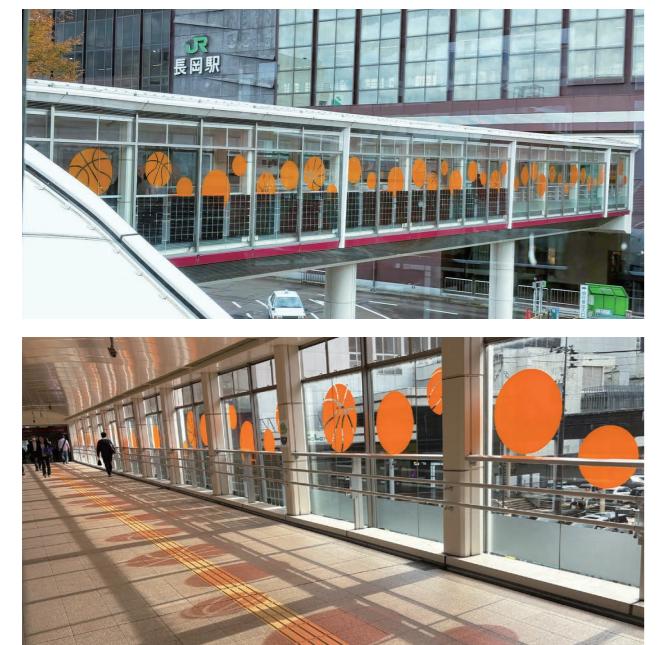
〈グラフィックデザイン〉  
長岡英智高等学校 創立20周年記念誌・式典プログラム  
CL: 長岡英智高等学校



〈グラフィックデザイン〉  
A-COLUMNパンフレット  
CL: オムニ技研株式会社



〈映像〉  
ユニバックス説明動画  
CL: 株式会社ナナテム



〈空間デザイン〉  
アルビレックスBB スカイデッキ装飾  
CL: NPO 法人ながおか未来創造ネットワーク



〈グラフィックデザイン〉  
国立大学経営改革促進事業 事業成果報告会 ポスター・パネル  
CL: 長岡技術科学大学



〈グラフィックデザイン〉  
大菱計器 会社案内  
CL: 株式会社大菱計器製作所



〈WEBデザイン〉  
J-PEAKSプロジェクトサイト  
CL: 長岡技術科学大学



〈グラフィックデザイン〉  
物理計測コンサルタント ノート  
CL: 株式会社物理計測コンサルタント



〈グラフィックデザイン〉  
錦の実り ロゴ・パッケージ・パンフレット  
CL: 小千谷市



詳しくは、今後サイトで発信させていただきます。

「無料ワンストップ相談会」※毎週金曜日：要予約（オンライン相談も受付中！）

・創業・事業承継・M&A ・相続・遺言 ・助成金 など

ご相談には、税理士・弁護士・中小企業診断士・社会保険労務士などの専門家が対応いたします  
お問い合わせ、ご予約は 0258-36-2685（担当：パートナーズプロジェクト 金内）まで

Neo Standard Design Production

**NEOS**



WEB



Instagram

<https://www.neos-design.co.jp>

※Neo spotlightのお問い合わせは株式会社ネオスまで

TAKE FREE

# neo spotlight

- ネオ・スポットライト -

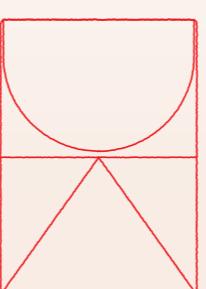
デザインが照らす  
地域の未来

Design shines a light on  
the future of the  
region.

vol.004 Winter 2026

## Contents

- # 地域を創る、ブランドストーリー / 岡三にいがた証券株式会社
- # ネオス 35周年特別企画 / 「ネオス 35年の歩みを振り返る。」
- # ネオス実績紹介



おかげさまでネオスは設立35周年を迎えました。

これまでのご縁に深く感謝するとともに、  
地域ブランドの「未来」をつくる企業として、  
より一層成長し続けてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

ネオス社員一同



# 岡三にいがた証券とブランディング

#地域を創る、ブランドストーリー

## 15年間ともに切磋琢磨 磨き上げたブランド力と 地域への愛



## #地域で最も頼りになる ファイナンシャル・アドバイザー

明治の創業以来126年余り、お客様と顔を合わせ、心を通わせて、資産運用のお手伝いをしてきた岡三にいがた証券。お客様のニーズや地域の課題を共有し、お客様と地域とともに栄えることを目指しています。近年は、企業経営者の事業承継やM&A、ご家族への相続対応に至るまで、気軽に相談いただける体制を整えています。

特に岡三証券グループの情報・商品・サービスの質の高さから、安心して任せられると信頼も寄せられ「地域で最も頼りになるファイナンシャル・アドバイザー」として躍進中。県内の農業、インフラ関連事業や起業・創業を応援するファンドも実施。創業者の反町新作氏をはじめ、戦後の混乱期に新潟証券取引所の再開に尽力した反町芝郎氏など、歴代の社長たちの地元への熱い思いは現在も脈々と受け継がれています。



# 岡三証券グループ 岡三にいがた証券

## #地域の幸せのために ともに働くパートナーとして

岡三にいがた証券がブランディングに取り組み始めたのは2011年。会社(当時は丸福証券)のロゴマーク策定の時でした。新潟市の広告会社や東京のデザイン会社、有名なデザイナーたちが参加するコンペにネオスも加わり、当時の山本社長(現会長)が自らデザインし、プレゼンをしました。

その時のことを岡三にいがた証券の橋本貢浩さんが語ってくれました。「私たちの意向を汲んで、忠実にデザインしてくれたものが多かった中で、山本会長のデザインには、「3つのF」という提案がプラスされて、会長の人柄と熱い思いが伝わってきました。選考のときに、会社の規模が小さいのではないかという声もありましたが、デザイン能力、役職員の熱意、理念の共有化と3拍子が揃っているネオスならばブランド力を向上させ、ともに成長していくと決断しました」。



ネオスがデザインを担当した120周年・125周年を記念する周年ロゴマーク。

## #ブランディングに寄与した CM「ずっとこの街にいがたと」

ロゴマークの制作から今日まで15年の月日が流れました。初期の広報を担当していた橋本さんに思い出を伺うと「ロゴマーク等のCI制作からはじまり、社名変更と本社屋建て替え、長岡まつりの大民踊流しへの参加と長岡花火の打ち上げ、テレビCMと連動させたフェアを3ヵ月ごとに企画したことなど数え切れません。その中で一番印象に残っているのは2015年から続く「ずっとこの街にいがたと」のCMです。まだドローン撮影が珍しかったときに、朱鷺の目線で撮影するという当時の会長のイメージを元に制作しました。ロケハンから撮影まで同行し、曲は何度もダメ出しが入り、最後は会長が口ずさんだメロディーを録音し、ようやく完成にこぎつけました。それが、今も親しまれているあのフレーズです」。



岡三にいがた証券の広川雅己さんも「このCMは翌年に新潟広告賞奨励賞を受賞。子どもたちが口ずさみ、今、入社試験に来る若者たちも知っています」と語り、CMによるブランディングの力を実感しています。ネオスの村上社長も「岡三にいがた証券さんの熱い想いが、クリエイターたちに伝わり、常に表現の原動力となってきたのです」と感慨を深くしています。



## #『ON』とカレンダーを通じて 新潟に賑わいと潤いを

岡三にいがた証券の江越誠社長からも『ON』\*とカレンダーの製作について、お話を伺いました。「当社は、地域で生まれて地域に育てられてきたという思いがあります。だから、常に地域の皆様の幸せのために何ができるのかを考えています。その一つが当社の冊子『ON』であり、カレンダーです。経済的な豊かさも大事ですが、暮らしの中では心の豊かさも大切です。私たちが大切にしている「新潟愛」を胸に、新潟の素晴らしさを再発見し、紹介しています。皆様の心に触れて感動し、時には出かけて、豊かな新潟の暮らしを実感していただけたら幸いです。おかげさまで取り上げた地域や企業の皆様方には、とても喜ばれています」。

の魅力が良く分かります。個人的には棚田や庭園が大好きです。これからも、皆様がまだ気づいていない新潟の魅力を発見し、お伝えしていきたいです」。



## #デフレからインフレへ 健康寿命とともに資産寿命を延ばす

「そして時代はデフレからインフレ社会へと転換しています。30年間続いたデフレ経済の中で、私たちの思考はデフレ脳になっています。頭をインフレ脳へと切り替えていかなければなりません。『人生100年時代』において資産寿命を延ばし、地域に賑わいと潤いをもたらす。そのため、私たちがどのようにお役に立てるかを考え、お伝えしていくことに使命感を感じています」と江越社長。

岡三にいがた証券株式会社  
本店: 新潟県長岡市大手通1丁目5番地5  
TEL: 0258(35)0290



\*2014年創刊。岡三にいがた証券の広報誌『ON』は新潟県内の上場企業のトップインタビューや県内の様々な魅力や地域医療機関の医師による健康・医療情報、投資・資産形成についての情報などを発信。2026年1月号で31号目。



## ネオス35年の歩みを振り返る。

ネオスが新潟県長岡市で誕生したのは1990年7月。以来、地域に根差したデザイン制作会社として、数多くの地元企業・自治体の魅力を引き出すデザインを世に送り出してきました。長岡のデザイン業界を牽引してきた山本会長と、営業担当として多くの企業からの信頼を築き上げてきた村上敦子社長に、ネオスのこれまでの歩みについてお話を伺いました。



### ネオス35周年特別企画 クロストーク

## 地域ブランドの未来をつくってきた、これまでと、これから。

### ネオスの歴史

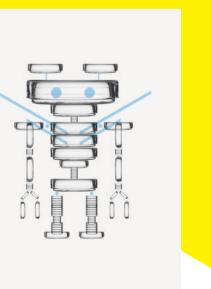
- 1990 ネオスデザイン事務所設立
- 1992 有限会社ネオスに組織変更  
資本金300万円  
長岡市今朝白に移転
- 1999 業務拡張のため長岡市花園に移転
- 2002 WEB制作事業開始
- 2004 中越大地震で事務所が被害にあい、長岡市三和に移転  
自社ブランド「わらぶ」の立ち上げ
- 2007 株式会社ネオスに組織変更  
資本金を1000万円に増資
- 2011 長岡市幸町に移転
- 2023 代表取締役会長 山本敦 就任  
取締役社長 村上敦子 就任
- 2025 設立35周年

## 1990-



創業当時の自宅兼事務所

### AWARDS RECEIVED 受賞歴

2007  
新潟ADC 2007  
準グランプリ2010  
新潟ADC 2010  
グランプリ2012  
新潟ADC 2012  
新潟ADC賞2013  
新潟ADC 2013  
新潟ADC賞2016  
第57回新潟広告賞  
グラフィック部門奨励賞2017  
ニイガタIDSデザインコンペティション2017  
IDS大賞2018  
第59回 新潟広告賞  
グラフィック部門 優秀賞2021  
新潟ADC 2021  
新潟ADC賞2022  
第63回 新潟広告賞  
グラフィック広告部門 優秀賞2023  
第64回 新潟広告賞  
グラフィック広告部門 優秀賞2025  
第66回 新潟広告賞  
新聞広告部門 金賞

## 2025-



2025年、地域ブランドを紹介するフリーペーパー『ネオス・スポットライト』を創刊

## 人のココロを動かすデザインを目指して

2000年代はインターネットの利用が急拡大した時期で、多くの企業がホームページを作るようになりました。ネオスはグラフィックとWEBの2部門体制となり、チラシ、CM制作からホームページの作成まで、多忙を極めることになります。この頃、デザイン制作会社としては珍しく、営業職を採用するようになりました。この体制強化により、代理店や印刷会社からの下請けから脱却。営業担当とデザイナーが直接クライアントと話し、その企業の課題や商品に対する思いを聞き取ることができるように、より解像度の高いデザインをアウトプットできるネオス独自の好循環が生まれていきました。

「ココロを動かすデザイン」というネオスのスローガンが生まれたのもこの頃です。「当時流行していた神田昌典さんのマーケティング本に、エモーショナル・マーケティングという考え方を紹介されていました。これに衝撃を受けまして。デザインも、単なる見た目の美しさとかを追求するだけではなくて、感情に訴えていかないといけないと思ったのです」(山本会長)、「デザインには人の心を動かす力がある」という山本会長の信念は、その後のネオスのデザインの指針となっていました。

2002年からは自社の仕事を紹介するニュースレターを発行。「ネオスのことを一般の人にも知ってもらうためのツールが必要だと思いました」(山本会長)。「デザインの力」と名付けられたレターは200号近く作られ、時間をかけて、ネオスという会社の実績を多方面に伝えていくことになります。村上敦子社長はその効果を振り返って「営業の場でも、ニュースレターを見てくださっている人は大変多いと思いました。特に行政に携わる方たちは、回覧して見てくださっていたのでは」と感じたそうです。

## 2010-



「錦鯉の聖地 おぢや」では、チームでプランディング、ブースデザインおよびツールデザインを制作

## チーム力を培ってより価値ある仕事を届けたい

「地域ブランドの未来をつくる」ことをミッションに掲げるネオスには、様々な地元企業・自治体から広告やホームページ制作など、自社の課題をデザインで解決したいとの相談が舞い込みます。採用、新製品の告知、ブランディングなど、課題は様々ですが「お客様からの声をじっくりヒアリングし、どうしたら伝わるかをチームで考え、多面的な提案ができるように意識しています」(村上社長)。ホームページの作成後、ECサイトの作成や、SNSを使った広報まで担当するようになります。プランディングやロゴの制作からカレンダーやパンフレットなどの販促物の作成につながったり、1個の仕事が終わるとともに、継続的にデザインを活かして課題解決につなげていく流れが増えていたといいます。

さらに2010年から2025年にかけては、クリエイティビティの高いプロモーションムービーの制作や、複数業種がタッグを組むコラボレー

## 未来への課題—— 地域イベントの開催にも挑戦したい

ネオスがこの先の未来に向けて、課題として考え、挑戦しようとしていることをお聞きしました。「この先も『地域』というものがキーワードになると思っています。今、ネオスに足りていないものがあるとすれば、地域おこし的な関わり方かな。自主的に本気で盛り上げていくには、相当な熱量や覚悟もいると思うんですね。でも年に一度ぐらい、地域資源と絡めて何かイベントを起こすような取り組みも必要な気がしています」(山本会長)。

村上社長は「地域の人や企業との『共創』を大事にしたいですね。その地域に流れる時間とか思いを繋げていくのは、難しいことではあるけれど、その地域の企業や人と一緒に未来を考えることで、いろいろなを作り出せると思っています。課題をどう解決していくかはよいのか、その地域の人から話を聞くことでわかつてくると思うので、自分もそうだし、社員の皆さんにも、人のつな



山本 敦

代表取締役会長、クリエイティブディレクター。新潟県長岡市小国生まれ。1990年ネオスデザイン事務所設立。代表的な仕事は丸福證券・岡三にいた証券CIデザイン等。



村上 敦子

取締役社長。新潟県出雲崎町生まれ。2009年入社。代表的な仕事は学連関連グラフィック・運営業務、岩塚製菓グループのグラフィック業務等。